

松田敬之 教授

研究業績

2022年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（共）	「[史料紹介] 旧幕府典薬頭 半井家華族取立運動について」竹貫元勝博士還暦記念論文集刊行会編『竹貫元勝博士還暦記念論文集 禅とその周辺学の研究』、永田文昌堂、791～801頁	2005. 1
著書（共）	「堂上公家の部屋住」高埜利彦編『朝廷をとりまく人びと（身分的周縁と近世社会⑧）』、吉川弘文館、45～72頁	2007. 6
著書（単）	『次男坊たちの江戸時代—公家社会の〈厄介者〉—』（歴史文化ライブラリー246）、吉川弘文館、1～262頁	2008. 1
著書（共）	「西園寺家●公爵家「もう一つの西園寺家」の真相」『歴史読本』編集部編『日本の華族—その栄光と挫折の一部始終—』、新人物往来社、114～123頁	2010. 10
著書（共）	「新華族先代・先々代叙位に関する一考察」『地域文化の歴史を往く』鶴崎裕雄編、和泉書院、409～428頁	2012. 8
著書（単）	『〈華族爵位〉請願人名辞典』吉川弘文館 1～928頁	2015. 12
著書（共）	「前近代の公家猶子と公家華族附籍」（朝幕研究会編『論集近世の天皇と朝廷』岩田書院、303～331頁	2019. 5
論文（単）	「華族の選に洩れた士族達」『藝林』第46巻第1号、51～73頁、（後、『日本史学年次別論文集』1997年版近現代分冊3 学術刊行会に収録）	1997. 2
論文（単）	「堂上格・華族格に関する一考察 —維新後の社家が懇望した身分について—」『藝林』第48巻第3号、26～58頁	1999. 8
論文（単）	「明治・大正期 京都官家士族の動向に関する一考察 —華族取立運動と復位請願運動を中心に—」『京都産業大学日本文化研究所紀要』第6号、244～299頁、（後、『日本史学年次別論文集』2001年版近現代分冊3 学術刊行会に収録）	2001. 3
論文（単）	「近世期 宮方・摂関方殿上人に関する考察 —『若江家所蔵文書』を中心に—」『大倉山論集』第49輯、93～143頁	2003. 3
論文（単）	「近世期の近衛府官人（御隨身）」『花園史学』第24号、17～51頁	2003. 11
論文（単）	「中・近世公家社会における家格上昇 —地下官人から堂上へ	2005. 3

	の身分昇格運動ー」『日本前近代社会における下級官人の研究 研究成果報告書』（研究課題番号 13301016 平成 13～16 年度科学研究費補助金基盤研究 A2 研究代表者：稲葉伸道）、440～456 頁（13～29 頁）	
論文（単）	「幕末・維新时期における摂家一条家家臣団の動向と朝臣意識」（『近世の摂家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究 研究成果報告書』〈東京大学史料編纂所研究成果報告二〇一三一五〉平成 22～25 年度科学研究費補助金基盤研究 B 研究代表者：松澤克行）、103～135 頁	2014. 3
論文（単）	「旧輪王寺門跡家臣の復族・復禄運動」『花園史学』第三九号、1～29 頁	2018. 11
その他（単）	「小林文広著『明治維新と京都 ー公家社会の解体ー』『藝林』第 48 巻第 2 号、61～63 頁	1999. 5
その他（単）	「華族の「選定基準」」『歴史読本』第 713 号、137～142 頁	1999. 8
その他（単）	「京都府立総合資料館所蔵の賀茂関係史料目録（抄）」『京都産業大学日本文化研究所紀要』第 5 号（「京都賀茂の旧社家伝来資料に関する調査と研究成果報告書」研究課題番号 09410096 平成 9～11 年度科学研究費補助金基盤研究 B2 研究代表者：所功 より転載）、330～341 頁	2000. 3
その他（共）	「カモ（賀茂・鴨）社関係の研究文献目録（抄）」『京都産業大学日本文化研究所紀要』第 5 号（「京都賀茂の旧社家伝来資料に関する調査と研究成果報告書」研究課題番号 09410096 平成 9～11 年度科学研究費補助金基盤研究 B2 研究代表者：所功 より転載）、342～366 頁	2000. 3
その他（単）	「冷泉家の家司達 ー『中川清基日記』の紹介ー」『志くれてい』第 72 号、2～3 頁	2000. 4
その他（単）	「東伏見宮 ー変転を重ねた皇族ー」『歴史と旅』第 27 巻第 11 号、76～79 頁	2000. 7
その他（単）	「東久邇宮 ー終戦内閣首班ー」『歴史と旅』第 27 巻第 11 号、88～93 頁	2000. 7
その他（単）	「皇族の終戦と停戦使節」『歴史と旅』第 27 巻第 12 号、152～157 頁	2000. 8
その他（共）	「後桜町天皇宸記 ー明和元年大嘗会記事ー」『京都産業大学日本文化研究所紀要』第 6 号、197～216 頁	2001. 3
その他（共）	「後桜町天皇宸記 ー宝暦十三年八月条ー」『京都産業大学日本文化研究所紀要』第 7・8 合併号、117～146 頁	2003. 3
その他（単）	「冷泉家と掲明集・桂光 ー冷泉家と近代文化サークルの形成ー」『志くれてい』第 86 号、4～5 頁	2003. 10

その他（単）	「公爵編 西園寺家 -忘れられた「もう一つの西園寺家」の真相-」『歴史読本』第761号、74～79頁→後、著書（共）『日本の華族—その栄光と挫折の一部始終—』に加筆修正の上、収録	2003. 2
その他（単）	「冷泉家の子供たち -庶子と猶子-」『冷泉家時雨亭叢書月報』第62号、5～8頁	2004. 8
その他（単） （項目執筆）	「平知信朝臣記」『日本古代史大辞典』、大和書房、405頁	2006. 1
その他（単） （項目執筆）	「親信卿記」『日本古代史大辞典』、大和書房、427頁	2006. 1
その他（共）	「『安政度造営 清涼殿障子新調記』翻刻」冷泉為理『安政度造営 清涼殿障子新調記』 -翻刻と解説-（立命館大学21世紀COEプログラム平成17年度報告書）、24～121頁	2006. 3
その他（単）	「『安政度造営 清涼殿障子新調記』登場人物一覧」冷泉為理『安政度造営 清涼殿障子新調記』 -翻刻と解説-（立命館大学21世紀COEプログラム平成17年度報告書）、18～22頁	2006. 3
その他（単）	「冷泉家の猶子たち」『志くれてい』第102号、(財)冷泉家時雨亭文庫、4～5頁	2007. 10
その他（単）	「〈書評〉鈴木康子著『長崎奉行の研究』『花園史学』第28号、花園大学史学会、104～114頁	2007. 11
その他（単）	「自著を語る『次男坊たちの江戸時代—公家社会の〈厄介者〉—』」『東京新聞夕刊』『中日新聞夕刊』	2008. 1
その他（単）	「『安政度造営 小御所障子新調記』登場人物一覧—歌人と画師を中心に—」『冷泉為理『安政度造営 小御所障子新調記』 -翻刻と解説-』（文化遺産を核とした歴史都市の防災研究プロジェクト平成19年度報告書）、立命館大学歴史都市防災研究プロジェクト事務局、18～30頁	2008. 2
その他（単）	「内裏・御所造営関係史料目録」『冷泉為理『安政度造営 小御所障子新調記』 -翻刻と解説-』（文化遺産を核とした歴史都市の防災研究プロジェクト平成19年度報告書）、立命館大学歴史都市防災研究プロジェクト事務局、163～185、186～196頁	2008. 2
その他（単）	「公家社会の次男・三男坊たち—系譜や墓碑に生きた証を探る—」『本郷』第74号、吉川弘文館、23～25頁	2008. 3
その他（単） （項目執筆）	「愛宕千日詣」『年中行事大辞典』、吉川弘文館、16頁	2009. 2
その他（単） （項目執筆）	「粟田宮祭」『年中行事大辞典』、吉川高文館、27頁	2009. 2

その他（共） （項目執筆）	「今宮祭」『年中行事大辞典』、吉川弘文館、65～66頁 （前段箇所は三枝暁子氏が執筆）	2009. 2
その他（単） （項目執筆）	「白川熊野祭」『年中行事大辞典』、吉川弘文館、368頁	2009. 2
その他（単）	「〈書評〉鈴木康子著『長崎奉行一等身大の官僚群像一』」 『花園史学』第33号、106～109頁	2012. 11
その他（単） （項目執筆）	「公家の次男坊」（『近世人の事典』東京堂出版）深谷克己・ 須田努編、49～50頁	2013. 4
その他（単）	「廣庭基介先生の傘寿の賀を祝して」（『廣庭基介先生傘寿記 念誌 アナログ司書の末裔伝』花園大学図書館司書資格課程） 菅修一・堤美智子編、10～11頁	2013. 11
その他（単）	「〈書評〉尚友倶楽部・華族史料研究会編『四條男爵家の維新 と近代』（『日本歴史』第789号）、113～115頁	2014. 2
その他（単）	「〈歴史への窓〉松田道之と松田敬之― 一字違いの人物 ―」 『花園史学』第35号、89～93頁	2014. 11
その他（単）	「〈新刊紹介〉刑部芳則著『京都に残った公家たち ―華族の 近代―』（『地方史研究』第65巻第5号(通号377)) 132頁 ～133頁	2015. 10
その他（単）	「〔歴史手帖〕学者の世界と爵位」『日本歴史』第835号 29 ～32頁	2017. 11
その他（イン タビュー）	「〈旬英気鋭〉現代に通じる身分への思い」（共同通信社イン タビュー）※『高知新聞』2016年1月27日朝刊・11面をはじ め、同社加盟紙である『徳島新聞』『山梨日日新聞』『伊勢 新聞』『神奈川新聞』『沖縄タイムス』『琉球新報』『秋田 魁新報』『信濃毎日新聞』『東奥日報（青森）』等の各紙に 随時掲載。	2016. 1. 27
その他（イン タビュー）	「華族へ昇格請願泣き笑い◇「授爵録」や日記から辞典執筆、 政治史の一面映し出す◇」『日本経済新聞』2016年2月12日 朝刊 32面文化欄	2016. 2. 12
その他（イン タビュー）	「松田敬之氏に聞く、『〈華族爵位〉請願人名辞典』（吉川 弘文館）請願をつうじて知られざる人間関係が分かる 大 正・昭和期でも大勢の人が自薦・他薦で請願」『図書新聞』 3241号	2016. 2
その他（単）	「華族の爵位と日本人」『本郷』No. 122、吉川弘文館、5～ 7頁	2016. 3
その他（イン タビュー）	「華族に「なれなかった」人って？／「〈華族爵位〉請願人 名辞典」」『産経新聞』東京版、2016年2月29日朝刊・14面 ※『産経新聞』大阪版は2016年3月3日朝刊・11面で「華族に	2016. 3. 3

	「なれなかった」人／請願活動の悲喜劇ひもとく／900人の記録刊行」の見出しで掲載。	
その他（単）	「〔週刊新潮掲示板〕華族になれなかった「家の伝承」」『週刊新潮』平成28年4月14日号 76頁	2016. 4
その他（単）	〈書評〉「長坂良宏著『近世の撰家と朝幕関係』」『日本歴史』第850号	2019. 3
口頭発表 （講演）	「近世公家社会の身分・制度—京都府立総合資料館所蔵の公家資料の紹介—」（京都府立総合資料館府民講座）	2002. 9
口頭発表 （研究報告）	「近世期における官方・撰関方殿上人 一堂上取立をめぐる—」法制史学会第 375 回近畿部会 於同志社大学光塩館	2004. 6
口頭発表 （講演）	「公家のいた（見た）風景」（財団法人大学コンソーシアム京都プラザカレッジ「京都学講座」）	2004. 9
口頭発表 （講演）	「明治・大正期 京都官家士族と請願運動」（京都市生涯学習総合センター京都アスニー ゴールデン・エイジ・アカデミー「京都歴史回廊文化塾 近現代京都の諸相—歴史・文学・伝統芸能—」）	2010. 2
口頭発表 （講演）	「近世公家・近代華族社会を生きた人々—次三男・女性たちを中心に—」（京都市生涯学習総合センター京都アスニーゴールデン・エイジ・アカデミー「京都歴史回廊文化塾 京都を創った人、京都に魅せられた人」）	2011. 3
口頭発表 （講演）	「近代華族社会と禅宗—近世公家社会とのつながり—」、花園会夏季講座、於花園大学	2011. 8
口頭発表 （講演）	「〈報告〉関西大学図書館蔵『拾葉畧記』の紹介・その他」、平成 22 年度～25 年度科学研究費補助金基盤研究「近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究」研究会、於東京大学史料編纂所	2011. 9
口頭発表 （講演）	「近代華族社会と禅宗寺院・僧侶 ～近世公家社会とのつながり～」（京都市生涯学習総合センター 京都アスニー ゴールデン・エイジアカデミー「京都歴史回廊塾 変革期京都の歴史と文化」）* 2011 年 8 月の「近代華族社会と禅宗 —近世公家社会とのつながり—」（花園会夏季講座）を改題の上、一部内容を改編して講演	2014. 3
口頭発表 （講演）	「幕末・維新期的一条家と家臣」（京都市生涯学習総合センター 京都アスニー ゴールデン・エイジアカデミー「京都歴史回廊協議会 京を舞台に活躍した人物」）	2015. 3
口頭発表 （講演）	「近世公家・近代華族社会の家庭環境 一部屋住・厄介らを中心として—」京都市生涯学習総合センター／アスニーセミナー、14時～16時	2016. 11. 11

口頭発表 (講演)	「華族制度と授爵規準の変遷」花園大学史学会 特別講演	2017. 11. 18
口頭発表 (講演)	「華族制度と授爵基準の変遷—京都の旧公家社会を中心として—」京都歴史回廊協議会第15回京都学セミナー	2018. 2
口頭発表 (研究報告)	「華士族制と「家」意識 —名族後裔による改姓事例の紹介—」 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国際日本文化研究センター基幹共同研究「貴族とは何か、武士とは何か」(代表: 倉本一宏教授) 2021年度第2回研究会 Zoomによるオンライン報告	2021. 7
